

女性の活躍応援団支援事業【神奈川県】

地域の実情と課題

○神奈川県では女性の就業継続が難しい状況にあることから「企業における女性の活躍の促進」に取り組むことが最重要課題である。
○県内民間事業所の管理職に占める女性の割合はいまだ8.2%(2020年神奈川県)と低い状況にあり、女性の就業継続支援のみならず、キャリアアップ支援も重要課題となっている。

事業の特徴

女性の活躍を推進する取組みに積極的で、神奈川県にゆかりの深い企業等の男性トップ20名と知事による「かながわ女性の活躍応援団」との協働により、性別に関係なく働き続けキャリアアップを図れるなど、女性が個性と能力を発揮できる社会の実現に向けて、社会全体で女性の活躍を応援する機運を高めていくための事業を行う。

事業の効果

○「Withコロナにおける働き方の変化と女性活躍推進」をテーマに取組事例紹介冊子を作成し、応援団員企業等の取組事例や、どのように取組みを進めているのかをQ&Aで紹介。冊子配布、Web掲載をしたほか、新聞に掲載されるなど、県内企業等の取組みの参考とすることができた。
○コロナの影響により、思うように啓発講座が開催できない状況のなか、オンライン等を活用した講座を提供し、受講者数は759人と目標(1,400人)を下回る結果とはなったものの、前年度(495人)を上回る方にジェンダーにとらわれない生き方・働き方を考える機会として活用いただけた。

目的・目標

【目的】

- ・女性活躍推進のための社会的ムーブメントの拡大。
- ・女性の就業継続、キャリアアップの促進。

【目標】

啓発講座等の受講者数

[目標]1,400人 ⇒ [実績]759人

連携団体

かながわ女性の活躍応援団員企業等(アイネット、アサヒビール、アツギ、麒麟ビール、京浜急行電鉄、JFEスチール、資生堂、第一生命保険、高島屋、ツクイホールディングス、飛鳥建設、日揮ホールディングス、日産自動車、日本発条、ファンケル、富士通、富士フイルムホールディングス、富士屋ホテル、横浜銀行、横浜国立大学)、応援サポーター企業等50社、特定非営利活動法人日本女性技術者科学者ネットワーク、市町村

今後の課題

○新型コロナウイルス感染症拡大という危機的事態においてこそ、女性活躍を進め、ダイバーシティ経営によるリスク管理能力の向上やイノベーションの創出等で企業成長を促すことが必要である。
○このような状況だからこそ、引き続き団員の社会的インパクトを活用し、啓発講座等への講師等派遣、取組紹介冊子の作成等、より実践的な活動を通じて、社会的ムーブメントの更なる拡大を図っていく必要がある。

事業の概要

「Withコロナにおける働き方の変化と女性活躍推進」に関する取組事例紹介冊子の作成・配布

○掲載内容

応援団員企業等の取組紹介ページ、応援サポーター企業等の取組紹介ページ、事例から答えるwithコロナでの取組みQ&Aページ等

○作成部数

5,000部

○配布先

県内企業や経済団体、市町村男女共同参画主管課等

○掲載アドレス

https://www.pref.kanagawa.jp/osirase/0050/womanact/lib/pdf/ouendan_pamphlet2021.pdf



啓発講座等の実施

実施日	主催	講演会等の名称	講師派遣企業等	実績(人)
6月9日	神奈川県立 追浜高等学校	理工系キャリア支援講座 ・2年生(体育館) ・1年生(各教室・ビデオ中継)	日産自動車(株) JNEWS※	550
7月29日	第一生命保険(株)	折れない心をつくるレジリエンス 向上セミナー ・オンライン(Teams)	(株)Woomax	165
11月20日	第一生命保険(株)	お父さん親子料理教室 ・集合型+オンライン(Zoom)	横浜保育福祉専門学校	18
12月3日	川崎市立 南生田中学校	ジェンダー平等を実現するために 今、わたしたちができること	神奈川県	26
啓発講座等 計4回				759

※JNEWS・・・特定非営利活動法人日本女性技術者科学者ネットワーク

応援サポーター向け セミナー&交流会の実施

日時: 令和4年2月24日 13:30~15:30

開催方法: オンライン(Zoom)、出席者: 13人

第1部: 講演・事例発表

「WEBを活用した社内コミュニケーションの活性化」

講師: 升田 覚 氏

合同会社Grow up Company代表社員、中小企業診断士、経営学修士(MBA)

事例発表企業: 合同会社 黒船 代表社員 池末 浩三 氏 他
第2部: 交流会